

令和 4 年度 事業報告・収支決算書
公益財団法人福武財団

I. 事業の状況

当年度は、コロナ禍の中での瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催となり、来場者数は 72 万人・前回は 61%に止まったものの、多くの方々に、瀬戸内とアートの魅力を堪能していただくことができた。手洗い・消毒、換気など基本的な対策はもとより、検温・体調確認などのコロナ対策を実施し、大きな事故を引き起こすことなく全会期を開催できたことは何よりも大きい。財団の美術館事業としては、来館者数が、予算比 103.6%、前年度比 264.9%と、年度後半の海外インバウンドの戻りの後押しもあり、令和元年度（芸術祭 2019 実施年度）比では 64.6%の水準まで戻ってきている。

当年度の新たな美術作品展開としては、直島の瀬戸内「中村由信と直島どんぐりクラブ」資料館、Naoshima Plan「住」、豊島の西本喜美子写真展などの展示や、犬島の INUJIMA アートランデブーでの大宮エリー作品の設置、小豆島・福武ハウスでのアジアギャラリー・風土ラボ・アジアアートプラットフォームなどの活動などがあげられる。新規作品取得としては、蔡國強作品“Head on”の輸入受入が完了し、新美術館（仮称）の準備も進められている。新たに作品収蔵庫も完成し、当財団の作品は、防災・安全・空調などが行き届いた良好なコンディションのもとで一元管理されることとなった。また、VTS（Visual Thinking Strategy：対話型鑑賞法）を活用した教育プログラムは更なる広がりを見せており、一般向け・中学高校向け・地元の小中学校向けなど、多くのプログラムが実施された。

助成事業は、引き続きコロナ禍の中の活動となったが、通常規模の助成を実施し、助成先情報共有会は対面とオンラインのハイブリッド形式で実施された。

財政面では、引き続き、コロナ禍の事業収入への影響は大きく、財源不足を基本財産の一部取崩で補った。

また、財団の体制面でも変更あり、令和 5 年 1 月 1 日付けで理事長交代（福武總一郎⇒福武英明）が実施され、新体制のもとで、財団の更なる発展に向けた取り組みが進められている。

定款第 4 条に掲げる事業として、下記の事業を行った。（敬称略）

A 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

以下の美術施設の運営を行った。当年度は、コロナ禍の中の瀬戸内国際芸術祭 2022 の実施年となり、前回比較では 6 割程度の戻りとなったが、通常年である前年度からは大きく改善してきている。

① 「地中美術館」の運営

ベネッセアートサイト直島の中核施設として、安藤忠雄設計の環境へ配慮した美術館に、クロード・モネの「睡蓮」シリーズ他を展示、年間 302 日を開館、134,422 人（対前年+67,596 人、201.2%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 12,158 人であった。また、当年度も予約制による運営を継続している。

② 「李禹煥美術館」の運営

安藤忠雄設計の美術館に「もの派」で有名な李禹煥の作品を展示、年間 303 日を開館、50,391 人（対前年+30,624 人、254.9%）の入館があった。なお、児童等無料入館者は 3,789 人であった。

③ . 「直島銭湯『I♥湯』」の運営

大竹伸朗の作品を展示する直島銭湯「I♥湯」を年間 302 日開館、36,075 人（対前年+19,825 人、222.0%）の入館者に対し、日本文化の普及と地域交流の場の提供を行った。なお、運営は直島町観光協会に委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

④ . 「ANDO MUSEUM」の運営

安藤忠雄建築研究所設計の ANDO MUSEUM は、直島の木造古民家と安藤建築が融合した MUSEUM で、年間 302 日開館、53,598 人（対前年+33,090 人、261.4%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 3,616 人であった。

⑤ . 「宮浦ギャラリー六区」の運営

西沢大良建築設計事務所設計の宮浦ギャラリー六区は、春会期は瀬戸内「鋳造景」資料館の展示、夏と秋会期は瀬戸内「中村由信と直島どんぐりクラブ」資料館の展示が行われ、直島を中心とした島々の暮らしを撮影した展示となっている。年間 98 日開館し、12,060 人の入館があった。

⑥ . The Naoshima Plan 「水」及び「住」の運営

「水」は、直島にある古い日本建築を改装した施設であり、年間 122 日開館し 57,566 人の入館があった。地域住民等の運営により地元住民と来島者の相互交流を促進した。

また、「住」は、三分一博志設計の寮建築プロセスや日本古来の建築工法をみていただく展示であり、年間 64 日開館し 20,811 人の入館があった。

⑦ . 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理

㈱ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑧ . 「女根／めこん」の運営

女木島にある大竹伸朗作品となる女根を年間 105 日開館、21,416 人の入館者があった。

運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託している。

⑨ . レアンドロ作品「不在の存在」の運営

女木島にあるレアンドロ作品となる不在の存在を年間 105 日開館、20,278 人の入館者があった。

運営は、NPO 法人瀬戸内こえびネットワークに委託している。

⑩ . 「犬島精錬所美術館、犬島『家プロジェクト』、犬島 ぐらしの植物園」の運営

三分一博志設計の「犬島精錬所美術館」に、柳幸典の作品を展示、年間 229 日を開館、24,971 人（対前年+19,379 人、446.5%）の入館者に対し、循環型社会の普及を行った。また、児童等の無料入館者は 2,318 人であった。犬島「家プロジェクト」では、名和晃平、荒神明香、ベアトリス・ミリヤーゼス、半田真規、オラファー・エリアソン等の作品を展示・運営した。自然とともに暮らす喜びを体験する「犬島ぐらしの植物園」の運営も行われた。

⑪ . 「豊島美術館」の運営

西沢立衛設計の美術館に、空間造形作家で有名な内藤礼の作品を展示、豊島の中核施設として、年間 282 日を開館、62,748 人（対前年+39,804 人、273.5%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 3,789 人であった。

⑫. 「森万里子作品（トムナフリー）」の運営

豊島の森万里子作品「トムナフリー」は、年間を通して休館であった。

⑬. 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営

生と死をテーマとしたクリスチャン・ボルタンスキーの作品を展示する美術館。年間 280 日を開館、32,567 人（対前年+21,581 人、296.4%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 1,741 人であった。

⑭. 「豊島横尾館」の運営

豊島横尾館は、建築家・永山祐子設計の建築に、横尾忠則の作品を展示した美術館で、年間 276 日を開館、32,007 人（対前年+22,133 人、324.2%）の入館があった。児童等の無料入館者は 1,936 人であった。

⑮. 「豊島八百万ラボ」の運営

豊島八百万ラボは、年間を通して閉館であった。作品入れ替えを検討中。

⑯. 「針工場」の運営

針工場は、豊島家浦地区にある旧針工場に宇和島の造船所にあった船型を運び展示した大竹伸朗作品で、芸術祭のテーマである「海の復権」を象徴する施設となっている。年間 153 日を開館、16,727 人（対前年+14,834 人、883.6%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 902 人であった。

⑰. 「イル ヴェント」の運営

トビアス・レーベルガーの作品を展示する豊島の美術施設「イル ヴェント」は、年間を通して休館であった。

⑱. 「福武ハウス」の運営

小豆島福田地区にある福武ハウス、休校中の福田小学校の施設を活用した西沢立衛設計の美術館で、アジアのアーティストによる作品を中心に展示している。年間 105 日を開館、7,184 人の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 684 人であった。

⑲. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」

ア. 「地中ストア」の運営

オリジナル商品と地中美術館に関係する作家・建築家の書籍類を販売した。

イ. 「李禹煥美術館ストア」の運営

オリジナル商品と李禹煥及び安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

ウ. 「直島銭湯 I♥湯ストア」でのオリジナル商品販売

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

エ. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

オ. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

オリジナル商品と関係する作家の書籍類を販売した。

カ. 「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する大竹伸朗に関するグッズ類を販売するが、休館中。

キ. 「レアンドロカフェ」の運営

女木島の不在の存在のカフェにおいて、飲み物を中心とした軽食を提供するが、休館中。

ク. 「犬島ストア&カフェ」の運営

犬島精錬所美術館、犬島家プロジェクト、犬島くらしの植物園に関係するオリジナル商品と作家の書籍類を販売した。また、カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供した。

ケ. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売した。また、カフェでは豊島で取れた食材を中心に飲み物・軽食を提供した。

コ. 「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品とボルタンスキーに関する書籍類を販売した。

サ. 「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と横尾忠則に関する書籍類を販売した。

シ. 「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売するが、年間を通して閉館中。

ス. 「針工場ストア」の運営

オリジナル商品と大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

セ. 「福武ハウスストア及び葺田の森テラスカフェ」の運営

関連作家の書籍・グッズ類を販売するとともに、アジア及び地元関連の飲み物・軽食を提供中。

ソ. 「地中カフェスペース」の運営委託

(株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑳. 美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進めた。特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、当年度は、次のような美術研究・国吉研究を実施した。

- ・第3期、2年目となる岡山大学寄付講座「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」へ500万円の寄付を継続実施（公益財団法人福武教育文化振興財団との共同寄付）。岡山大学では、当年度も同講座が開講され、延べ982人の学生が受講、美術鑑賞教育を学んだ。国吉研究の深化等を期待している。また、当年度は、対面とオンラインでの活動となり、以下の国吉康雄企画展等を実施し、国吉康雄の理解と普及に努めた。
- ・国吉康雄顕彰イベント「国吉祭」を3年ぶりに対面で実施。令和4年9月は京橋朝市で、11月は和気町で開催され、約400人の参加があった。
- ・岡山大学大学院教科書執筆に参加。国吉講座として「大学と地域の新しい協働をアートが結ぶとき」を執筆。国吉康雄を岡山の文化芸術資源として定義し、各種活動内容などを紹介している。
- ・国吉作品等を題材とした対話型鑑賞法の研究が、引き続き進められている。

㉑. アーカイブの整備継続

美術品台帳、美術保存資料、画像、動画ストレージなど、美術館アーカイブの整備が急速に進んで来ている。また、その活用についても、展示企画、広報誌、ブログ、新人教育、研修プログラム、鑑賞プログラムなどの場面で広がりを見せてきている。

②. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させた体験プログラムの開発等による地域振興につなげる活動や、美術施設周辺における景観保全の動きも進んできている。

③. 直島における（仮称）新美術館建設の進行

直島に（仮称）新美術館建設を進行中。令和 4 年 5 月に新美術館用土地の取得を完了し、令和 4 年 9 月に着工された。建築家安藤忠雄氏の設計による美術館で、アジア系作品を中心に展示予定。

B 美術に関するイベント並びに国際交流事業

① . 「シンポジウム」の開催

瀬戸内国際芸術祭 2022 のイベントとして、次の公開フォーラムが開催された。

□「瀬戸内アジアフォーラム」の開催

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

共催：公益財団法人福武財団、大地の芸術祭実行委員会

日時：令和 4 年 10 月 16 日

場所：高松港 レクザムホール

開催方法：現地対面+オンライン

テーマ：海でつながる世界の「今」をどう考えるか ～足は大地に 目は遠く世界に～

参加者及びプログラム：約 190 人が参加、4 人の主催者・来賓者の登壇の後、25 人のアーティストが「世界の今における文化・芸術の可能性」について発表。台湾、香港、アイスランド、イギリス、ポルトガル、インドなどからのオンライン参加もあった。現地参加の方々には、瀬戸芸 2022 および大地の芸術祭 2022 を巡るプログラムも実施された。

②. 「教育普及及びプログラム」の実施

ア. キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施した。地中美術館や李禹煥美術館にて地元の小学生向けプログラム等も実施している。

イ. プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリーツアーを開催し、ミュージアムスタッフとともに、美術館を体験するプログラムを提供した。

ウ. ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部作品において開催。日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供した。

エ. 地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

直島町役場スタッフと共同で直島建築ツアーを実施している。直島建築を通じて、直島の町づくりの思想を伝える機会にもなっている。また、美術施設や地域コンテンツに関連した各種ワークショップや講演会等も実施されている。

オ. アート鑑賞・教育プログラム（対象：一般）

VTS（Visual Thinking Strategy：対話型鑑賞法）を中心に現代アートの鑑賞方法を整理し、教育プログラムとして導入・実施している。鑑賞ツールを整備した小中学校・高校生向け鑑賞プログラムや、社会課題などに視野・思考を広げてもらう社会人向け鑑賞プログラムを用意している。また、WEB 会議形式のオンライン鑑賞教育プログラムも実施している。

③. 「米&食プロジェクト」の実施

直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供した。

④. 国際交流

□海外広報

瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催を中心に、海外の新聞・雑誌・WEB などの広報メディアに取り上げられ、海外のメディア露出としては、100 件（国内を含めた全体の 23%）となっている。

□中国プロジェクト

・桃花島プロジェクトは中国側が事業主体であり、中国人アートディレクター渠岩氏によるアートディレクション展開が始まっている。当財団は、直島メソッドとその背景にある基本理念の普及という立場でこのプロジェクトに協力している。

□その他の国際交流

・令和 4 年 5 月、8 月、中国 Server Art 主催による名誉理事長講演「アートによる農村振興」が実施され、多くの SNS メディアにライブ配信された。
・上記の他にも、当財団名誉理事長によるオンライン講演を多数実施。6 月：日仏経済交流委員会 CEFJ 主催のパリ商工会 25 周年記念イベント、6 月：広島大学総合科学部国際共創学科（IGS）向け講演など。各講演では、ベネッセアートサイト直島及び中国プロジェクトの事例紹介が行われるとともに、当財団活動の基本理念の普及が進められた。

⑤. 瀬戸内国際芸術祭の共催

□瀬戸内国際芸術祭 2022 を開催した。

名称：瀬戸内国際芸術祭 2022（Setouchi Triennale 2022）

テーマ：「海の復権」

開催期間：春：2022 年 4 月 14 日（木）～ 5 月 18 日（水） 35 日間

夏：2022 年 8 月 5 日（金）～ 9 月 4 日（日） 31 日間

秋：2022 年 9 月 29 日（木）～ 11 月 6 日（日） 39 日間 の 会期総計 105 日間

会場：直島、犬島、豊島、男木島、女木島、小豆島、大島、高松港周辺、宇野港周辺

（春）沙弥島、（秋）本島、粟島、伊吹島、高見島

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長：池田 豊人（香川県知事）

名誉会長：真鍋 武紀（元香川県知事）、浜田 恵造（前香川県知事）

総合プロデューサー：福武 総一郎

総合ディレクター：北川 フラム

□瀬戸内国際芸術祭 2022 の美術作品の展示他

瀬戸内国際芸術祭 2022 の美術作品の展示としては、直島の瀬戸内「中村由信と直島どんぐりクラブ」資料館、Naoshima Plan「住」、豊島の西本喜美子写真展などの展示や、犬島の INUJIMA アートランデブーでの大宮エリー作品の設置、小豆島・福武ハウスでのアジアギャラリー・風土ラボ・アジアアートプラットフォームの展示などを実施した。令和4年度における芸術祭関連支出は総額 203,413 千円で、そのうち、瀬戸内国際芸術祭実行委員会への負担金の支払い 99,750 千円を実行した。芸術祭関連の支出明細は、次のとおりとなっている。

瀬戸内国際芸術祭2022 芸術祭関連支出 2力年予算・実績

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度			2力年合計		
		実績	2次修正 予算	実績	差	2次修正 予算	実績	差
直島	瀬戸内「 」資料館 展示	4,706	4,053	5,243	1,191	8,759	9,950	1,191
	ギャラリー六区付随建屋改修	0	17,046	17,131	85	17,046	17,131	85
	Naoshima Plan「住」	0	3,471	3,471	0	3,471	3,471	0
	護王神社20周年事業	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0
豊島	針工場 第2期展示	9,902	5,000	5,000	0	14,902	14,902	0
	八百万丸 第2期作品展開	1,974	8,639	8,621	-18	10,613	10,595	-18
	豊島横尾館 ソフトウェア充実施策	15	2,681	2,681	0	2,696	2,696	0
	西本喜美子写真展	0	2,422	2,535	113	2,422	2,535	113
犬島	犬島PJ構想展	1,100	1,137	1,145	8	2,237	2,245	8
	作品アート制作(大宮エリー)	543	11,312	11,368	56	11,856	11,912	56
	維新派上映会	0	0	0	0	0	0	0
小豆島	福武ハウス アジアギャラリー展示追加		4,587	4,581	-6	4,587	4,581	-6
	福武ハウス 風土ラボ(施設整備、イベント)	6,722	6,817	6,829	12	13,539	13,551	12
	アジアアートプラットフォーム企画	169	10,600	10,577	-23	10,769	10,746	-23
その他	活動費	2,056	2,883	3,042	159	4,939	5,098	159
	アート芸術祭 小計	27,189	81,648	83,226	1,577	108,837	110,414	1,577
	実行委負担金	99,750	99,750	99,750	0	199,500	199,500	0
	広報活動費他	3,245	20,821	20,437	-384	24,066	23,682	-384
	広報芸術祭 小計	102,995	120,571	120,187	-384	223,566	223,182	-384
	総合計	130,184	202,220	203,413	1,193	332,403	333,597	1,193

C 美術に関する情報提供並びに出版事業

① 情報提供事業

活動全体をカバーするホームページ「ベネッセアートサイト直島」を㈱ベネッセホールディングスと共同で運営中。アート施設の紹介に加え、ベネッセアートサイト直島の活動や、瀬戸内の島々で日々起こる出来事、瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催状況等を紹介している。また、ソーシャルメディアを活用し、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等での情報発信も継続。インスタライブやインフルエンサーによる情報発信など、新たな取り組みにも活動の幅を広げている。

② 機関誌及び美術に関する出版物の刊行

ア. 広報誌の刊行

当年度は、年 4 回、以下の広報誌を発行した。

令和 4 年 7 月号：新たなギャラリーの誕生—ベネッセハウスの 30 年、そして未来へ

令和 4 年 10 月号：瀬戸内国際芸術祭 2022

令和 5 年 1 月号：アートと地域・コミュニティ創造の磁場・直島

令和 5 年 4 月号：杉本雅楽 直島御神楽

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内、国外に向けて発信している。

イ. カタログ・ハンドブック等の刊行

地中美術館、豊島美術館など、主要施設のカタログ・ハンドブック等を刊行している。施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物としている。

D 地域振興助成

① アートによる地域振興助成

ア. 事業助成

令和 4 年度の事業助成については、次の助成を実施した。

公募助成：18 件、20,500 千円

なお、選考委員会は、一次選考は対面会議で、二次選考（プレゼン選考）は対面と Web の混合会議にて実施された。また、令和 5 年度に向けての募集・選考活動の準備も進めている。

アートによる地域振興助成の情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和 4 年 10 月 22～23 日

参加助成先：29 団体

内容：コロナの影響により、対面と Web の混合会議での情報共有会を開催した。助成先各団体を 5 グループに分け、前半は 2 団体からの事例報告、後半は分科会形式で、活動内容、悩み、課題と展望などを話し合い、まとめ発表。各選考委員からのご意見もいただき有益な情報共有会となった。現場での事例を学ぶ「瀬戸芸ツアー」も実施した。

助成先における活動未実施と助成金の返金

コロナ禍の中、計画されていた活動が実施できず、アート事業助成 1 件の助成先から 32 千円の助成金の返金があった。

イ. 研修助成

助成：3件、1,457千円（非公募）

アートによる地域振興を学びたい方へ研修助成を実施。選考委員会も通常どおり実施された。また、令和5年度に向けての募集・選考の準備も進めている。

□助成先における活動未実施と助成金の返金

コロナ禍の中、計画されていた活動が実施できず、研修助成1件の助成先から114千円の助成金の返金があった。

②. 瀬戸内海地域振興助成

令和4年度の瀬戸内海地域振興助成については、次の助成を実施した。

公募助成：13件、6,940千円

なお、選考委員会は、一次選考は対面会議で、二次選考は対面とWEBの混合会議にて実施された。令和5年度に向けての募集・選考活動の準備も進めている。

□瀬戸内海地域振興助成の情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和4年8月22～23日

参加助成先：20団体

内容：コロナの影響により、対面とWEBの混合会議での情報共有会を開催した。代表4団体からの事例発表のあと、小グループによる分科会交流会を実施。活動の成果、課題、今後の展開をテーマに議論がなされ、選考委員からの講評もいただいた。現場での事例を学ぶ「瀬戸芸ツアー」も実施した。

E 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行った。

令和4年度共催支援（3件）

□瀬戸内国際芸術祭2022の開催準備

総合プロデューサーとして当財団名誉理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

□大地の芸術祭（新潟県越後妻有）

総合プロデューサーとして当財団名誉理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。また、共催助成として、助成金10,000千円の支払いを実施した。

□豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会主催の活動を積極的に支援した。また、共催助成として、助成金1,500千円の支払いを実施した。

□助成先における活動未実施と助成金の返金

計画されていた活動が実施できず、豊島「食プロジェクト」推進協議会から1,407千円の助成金の返金があった。

F 地域振興のためのファンドレイジング

①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられることから、これを支援し紹介するファンドレイジングサイトを運営している。

②. 豊島「食プロジェクト」に関するファンドレイジング

豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進している。また、豊島棚田収穫祭にてファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を行っている。

③. The Naoshima Plan「水」プロジェクトに関するファンドレイジング

The Naoshima Plan「水」は、来島者と地域の方々との交流を目指した施設であるが、募金箱を設置することで、ファンドレイジングを進めている。募金は施設の維持管理のために活用されている。

④. 犬島くらしの植物園に関するファンドレイジング

「犬島くらしの植物園」は、自然とともに暮らす喜びを体験する施設であるが、募金箱を設置することで、ファンドレイジングを進めている。募金は施設の維持管理のために活用されている。

G 管理部門の事業報告

- ①. コロナ禍の中での減収に対応するため、基本財産の一部取崩を実行した。
- ②. 瀬戸内国際芸術祭 2022 の実施年にあたり、量対応と支出管理の徹底を推進した。
- ③. 新美術館用土地取得、蔡國強大型作品取得などの大規模投資を財政面から支援した。
- ④. 適格請求書発行事業者登録を完了し、消費税インボイス制度開始に向けた準備を進行中。
- ⑤. 直島の新寮 2 棟の建設を推進し、美術館事業スタッフの住環境改善に努めた。
- ⑥. 国内外芸術祭視察の機会提供、学びのプログラム提供など、人材育成の強化に注力した。
- ⑦. 兼業副業者の採用など、多様な働き方実現に向けて、人事面での基盤整備を進めている。
- ⑧. 就業規則等改訂による人事政策推進とコンプライアンス強化を実施した。
- ⑨. 理事会・評議員会については、Web 会議による開催を基本に実施している。
- ⑩. ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体の運営を実行している。

H 附属明細書

附属明細書に記載する事項なし。

II. 処務の概要

1) 役員等に関する事項

(令和5年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任(重任) 年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事 (理事長)	非常勤	福武 英明	R4.6.11	業務の総括	有	(株)ベネッセホールディングス 取締役	理事長就任 はR5.1.1
代表理事 (名誉理事長)	非常勤	福武総一郎	R4.6.11	地中美術館 館長	有	(株)ベネッセホールディングス 名誉顧問	名誉理事長就 任はR5.1.1
業務執行理事 (常任理事)	非常勤	北川フラム	R4.6.11	地中美術館 副館長	有	(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長	
理事	非常勤	安藤 忠雄	R4.6.11		有	(株)安藤忠雄建築研究所 代表取締役	
理事	非常勤	岡田 晴奈	R4.6.11		有	(株)ベネッセホールディングス 常務執行役員	
理事	常勤	金代健次郎	R4.6.11		有	公益財団法人福武財団 前事務局長	
理事	非常勤	小林 眞一	R4.6.11		有	直島町長	
理事	非常勤	鈴木 寛	R4.6.11		有	東京大学公共政策大学院 教授	
理事	非常勤	丹呉 泰健	R4.6.11		有	日本たばこ産業(株) 社友	
監事	非常勤	尾尻 哲洋	R4.6.11		有	辻・本郷税理士法人 特別顧問 税理士	
監事	非常勤	和田 朝治	R4.6.11		有	和田・小田弁護士事務所 代表 弁護士	

※令和5年3月31日現在の評議員数は9名、選考委員数は10名です。

2) 職員に関する事項

(令和5年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	採用(就任) 年月日	担当職務	報酬	備考
事務局長	常勤	宇野 恵信	H27.9.1	経営企画	有	助成部長兼務
本部長	常勤	脇 清美	H29.8.1	アドミニ	有	アーカイブ部長兼務
本部長	常勤	岩下 洋子	H30.7.1	美術館運営	有	運営部長、豊島・犬島運営部長兼務
部長	常勤	大内 航	H24.5.1	アート	有	マーケ・プロモ部長兼務
部長	常勤	竹之内千夏	H21.4.1	美術館運営	有	直島運営部長、地域支援部長兼務
部長	常勤	石井 一夫	H23.1.1	経理	有	
部長	非常勤	松浦 俊明	H26.9.1	財務	有	

※令和5年3月31日現在の職員数は70名、契約職員数は4名、アルバイト・パートは42名です。

3) 会議等に関する事項

①. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 4 年 5 月 24 日	<input type="checkbox"/> 第 66 回理事会（決議の省略） 令和 3 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 令和 3 年度事業報告・決算報告を承認すること。 第 30 回定時評議員会を令和 4 年 6 月 11 日に開催することを承認する件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 4 年 6 月 11 日	<input type="checkbox"/> 第 67 回理事会 理事長、副理事長、常任理事選任の件 議決権行使承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 令和 3 年度事業報告・決算報告の内閣府への電子申請承認の件 直島町からの新美術館用地無償貸与受入の内容変更承認の件 将来ビジョン承認の件 令和 4 年度修正収支予算承認の件 令和 4 年度関連当事者との取引承認の件 地域振興助成に係る募集要項承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 事務局より報告
令和 4 年 8 月 20 日	<input type="checkbox"/> 第 68 回理事会（決議の省略） 新美術館（仮称）建設工事契約締結承認の件 直島町との新美術館（仮称）建設工事用地無償賃借契約締結承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 4 年 11 月 21 日	<input type="checkbox"/> 第 69 回理事会（決議の省略） 第 31 回みなし評議員会を令和 4 年 11 月 30 日に開催する件	全会一致で承認可決
令和 4 年 12 月 10 日	<input type="checkbox"/> 第 70 回理事会（決議の省略） 理事長（代表理事）、名誉理事長（代表理事）選出の件 経営企画委員会規程変更承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 5 年 3 月 4 日	<input type="checkbox"/> 第 71 回理事会 規程類改定承認の件（就業規則、アルバイト就業規則、賃金規程 アルバイト賃金規程） 地域振興助成及び地域活動の共催支援（自主・共催助成）に係る 助成先承認の件 令和 4 年度第 2 次修正予算承認の件 令和 5 年度事業計画・収支予算承認の件 令和 5 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件 令和 5 年度事業計画・収支予算等について内閣への電子申請承認 の件 事務局長交代承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告 岡大国吉寄付講座活動状況報告 瀬戸内国際芸術祭 2022 の準備状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 事務局より報告 事務局より報告 事務局より報告

②. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 4 年 6 月 11 日	<input type="checkbox"/> 第 30 回定時評議員会 令和 3 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 令和 3 年度事業報告・決算報告承認の件 基本財産取崩枠設定（令和 3 年度分）承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 評議員選任の件 理事・監事選任の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 4 年 11 月 30 日	<input type="checkbox"/> 第 31 回評議員会（決議の省略） 定款変更承認の件（3 分の 2 以上の特別議決）	全会一致で承認可決

4) 許可、認定、承認、証明等に関する事項

該当なし

5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
令和 4 年 5 月 26 日	(株)ベネッセホールディングス	土地建物売買契約
令和 4 年 8 月 30 日	鹿島建設(株)及び福武信子との三者契約	新美術館の建設契約
令和 4 年 7 月 1 日他	直島町	土地使用貸借契約 3 件

6) 寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額（円）	備考
令和 4 年 5 月 2 日	福武家の信託財産	施設運営	182,294,000	施設運営資金
令和 4 年 5 月～11 月	直島一般来島者	施設維持	117,398	募金収入
令和 4 年 9 月～翌年 3 月	犬島一般来島者	施設維持	77,224	募金収入

7) 行政庁（内閣府）からの指示事項

該当なし

8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

9) その他重要事項

該当なし

公益財団法人 福武財団

令和4年度決算報告書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

I. 貸借対照表

II. 正味財産増減計算書

III. 正味財産増減計算書内訳表

IV. 財務諸表に対する注記

V. 附属明細書

VI. 財産目録

VII. 予算対比正味財産増減計算書

VIII. 予算対比収支計算書（収支ベース）

IX. 島別施設別収支計算書 【参考用】

※ 「監査報告書」

I. 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

I - 1) 貸借対照表

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	90,200,016	136,177,299	△ 45,977,283
売掛金	44,613,171	29,647,941	14,965,230
未収金	21,880,273	1,202,273	20,678,000
棚卸資産	82,673,053	92,699,895	△ 10,026,842
前払金	5,063,070	3,153,106	1,909,964
前払費用	4,091,274	3,907,273	184,001
立替金	2,232,094	3,320,913	△ 1,088,819
仮払金	0	107,191	△ 107,191
流動資産合計	250,752,951	270,215,891	△ 19,462,940
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	22,800,000	22,800,000	0
美術品	17,358,830,475	17,358,830,475	0
普通預金	4,423,606	67,713,567	△ 63,289,961
投資有価証券	16,624,197,025	19,210,242,349	△ 2,586,045,324
基本財産合計	34,010,251,106	36,659,586,391	△ 2,649,335,285
(2)特定資産			
芸術祭事業積立資産	134,605,420	262,963,724	△ 128,358,304
助成事業積立資産	74,361,835	74,360,845	990
修繕積立資産	188,460,028	131,138,743	57,321,285
美術館事業積立資産	137,876,000	768,750,000	△ 630,874,000
事務所建設積立資産	30,000,000	30,000,000	0
特定資産合計	565,303,283	1,267,213,312	△ 701,910,029
(3)その他の固定資産			
土地	485,040,892	485,040,892	0
建物	2,907,872,901	3,022,833,717	△ 114,960,816
建設附属設備	118,602,347	145,593,240	△ 26,990,893
構築物	171,759,808	191,373,791	△ 19,613,983
機械装置	1,222,040	1,343,970	△ 121,930
車両運搬具	34,544	34,544	0
船舶	0	1	△ 1
什器備品	17,490,637	20,036,648	△ 2,546,011
美術品	1,872,920,163	1,862,855,043	10,065,120
ソフトウェア	0	0	0
建設仮勘定	1,123,485,274	78,234,087	1,045,251,187
敷金	12,210,000	12,210,000	0
その他投資等	221,810	221,810	0
その他の固定資産合計	6,710,860,416	5,819,777,743	891,082,673
固定資産合計	41,286,414,805	43,746,577,446	△ 2,460,162,641
資産合計	41,537,167,756	44,016,793,337	△ 2,479,625,581
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	11,340,476	8,822,507	2,517,969
未払金	47,476,504	52,569,651	△ 5,093,147
未払費用	34,348,965	37,048,306	△ 2,699,341
預り金	6,782,548	7,495,450	△ 712,902
前受金	819,565	1,196,324	△ 376,759
未払消費税等	0	20,143,800	△ 20,143,800
流動負債合計	100,768,058	127,276,038	△ 26,507,980
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	100,768,058	127,276,038	△ 26,507,980
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	34,545,554,389	37,896,799,703	△ 3,351,245,314
(うち基本財産への充当額)	(34,010,251,106)	(36,659,586,391)	(△ 2,649,335,285)
(うち特定資産への充当額)	(535,303,283)	(1,237,213,312)	(△ 701,910,029)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	6,890,845,309	5,992,717,596	898,127,713
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	0
正味財産合計	41,436,399,698	43,889,517,299	△ 2,453,117,601
負債及び正味財産合計	41,537,167,756	44,016,793,337	△ 2,479,625,581

Ⅱ. 正味財産増減計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

Ⅱ - 1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[347,455,611]	[353,867,981]	[△ 6,412,370]
基本財産受取利息振替額	54,507,611	49,187,981	5,319,630
基本財産受取配当金	118,800,000	108,000,000	10,800,000
基本財産受取配当金振替額	174,148,000	196,680,000	△ 22,532,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
③. 事業収益	[820,296,424]	[335,690,378]	[484,606,046]
④. 受取補助金	[93,384]	[8,428,959]	[△ 8,335,575]
⑤. 受取寄附金	[1,262,248,293]	[677,022,177]	[585,226,116]
受取寄附金	194,622	63,503,412	△ 63,308,790
受取寄附金振替額	1,262,053,671	613,518,765	648,534,906
⑥. 雑収益	[6,886,101]	[2,085,592]	[4,800,509]
受取利息	1,797	1,651	146
雑収益	6,884,304	2,083,941	4,800,363
経常収益計	2,436,979,813	1,377,095,087	1,059,884,726
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,403,595,553]	[1,310,545,401]	[93,050,152]
期首棚卸高	92,699,895	90,747,153	1,952,742
仕入高	133,006,733	54,463,053	78,543,680
期末棚卸高	△ 82,673,053	△ 92,699,895	10,026,842
給与手当	311,504,775	299,154,469	12,350,306
臨時雇賃金	83,158,197	70,530,506	12,627,691
退職給付費用	8,717,468	8,113,781	603,687
福利厚生費	62,777,998	54,532,431	8,245,567
旅費交通費	29,363,575	10,632,447	18,731,128
通信運搬費	19,034,907	15,949,978	3,084,929
什器備品費	1,155,570	1,533,752	△ 378,182
消耗品費	15,848,798	13,525,267	2,323,531
減価償却費	164,040,372	174,481,284	△ 10,440,912
修繕費	103,216,290	114,267,008	△ 11,050,718
印刷製本費	5,679,555	3,677,556	2,001,999
燃料費	2,566,188	2,238,346	327,842
光熱水料費	42,523,125	25,853,795	16,669,330
賃借料	29,942,886	33,002,265	△ 3,059,379
保険料	7,965,788	9,812,983	△ 1,847,195
諸謝金	22,207,781	18,798,725	3,409,056
租税公課	7,237,050	33,147,069	△ 25,910,019
負担金	100,437,000	215,024,500	△ 114,587,500
助成費	38,218,092	41,300,669	△ 3,082,577
寄附金	5,300,000	5,000,000	300,000
宣伝広告費	87,115,265	29,102,997	58,012,268
会議費	10,215,543	6,863,731	3,351,812
交際費	1,987,228	514,774	1,472,454
委託費	76,331,918	61,302,833	15,029,085
雑費	24,016,609	9,673,924	14,342,685

Ⅱ - 2) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
②. 管理費	[135,256,546]	[118,854,271]	[16,402,275]
役員報酬	750,000	850,000	△ 100,000
給与手当	67,104,108	59,693,682	7,410,426
臨時雇賃金	2,489,445	2,352,336	137,109
役員退職給付費用	300,000	0	300,000
退職給付費用	803,358	1,261,417	△ 458,059
福利厚生費	11,879,607	10,492,827	1,386,780
旅費交通費	7,784,522	1,578,230	6,206,292
通信運搬費	7,158,579	6,207,556	951,023
消耗品費	1,516,719	875,703	641,016
減価償却費	7,004,175	7,308,024	△ 303,849
修繕費	998,760	1,516,318	△ 517,558
印刷製本費	933,664	822,966	110,698
燃料費	160,720	166,171	△ 5,451
光熱水料費	1,715,809	1,726,925	△ 11,116
賃借料	4,422,901	4,538,074	△ 115,173
保険料	202,633	262,352	△ 59,719
諸謝金	3,517,990	4,203,870	△ 685,880
租税公課	1,238,980	139,076	1,099,904
会議費	1,420,566	2,453,807	△ 1,033,241
交際費	2,060,782	650,592	1,410,190
委託費	10,215,659	10,508,164	△ 292,505
雑費	1,577,569	1,246,181	331,388
經常費用計	1,538,852,099	1,429,399,672	109,452,427
評価損益等調整前当期經常増減額	898,127,714	△ 52,304,585	950,432,299
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	898,127,714	△ 52,304,585	950,432,299
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	1	0	1
經常外費用計	1	0	1
当期經常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	898,127,713	△ 52,304,585	950,432,298
一般正味財産期首残高	5,992,717,596	6,045,022,181	△ 52,304,585
一般正味財産期末残高	6,890,845,309	5,992,717,596	898,127,713
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 2,496,652,123	△ 495,291,705	△ 2,001,360,418
特定資産評価損益等	85,709,137	44,565,072	41,144,065
基本財産受取利息	59,824,449	54,370,129	5,454,320
基本財産受取配当金	307,890,000	279,900,000	27,990,000
特定資産受取利息	398,505	77,226	321,279
受取寄付金	182,294,000	571,856,050	△ 389,562,050
一般正味財産への振替額	△ 1,490,709,282	△ 859,386,746	△ 631,322,536
当期指定正味財産増減額	△ 3,351,245,314	△ 403,909,974	△ 2,947,335,340
指定正味財産期首残高	37,896,799,703	38,300,709,677	△ 403,909,974
指定正味財産期末残高	34,545,554,389	37,896,799,703	△ 3,351,245,314
Ⅲ 正味財産期末残高	41,436,399,698	43,889,517,299	△ 2,453,117,601

Ⅲ. 正味財産増減計算書内訳表（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

Ⅲ-1) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[196,557,611]	[196,557,611]	[150,898,000]	[0]	[347,455,611]
基本財産受取利息振替額	54,507,611	54,507,611	0	0	54,507,611
基本財産受取配当金	0	0	118,800,000	0	118,800,000
基本財産受取配当金振替額	142,050,000	142,050,000	32,098,000	0	174,148,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
③. 事業収益	[820,296,424]	[820,296,424]	[0]	[0]	[820,296,424]
④. 受取補助金	[93,384]	[93,384]	[0]	[0]	[93,384]
⑤. 受取寄附金	[1,262,248,293]	[1,262,248,293]	[0]	[0]	[1,262,248,293]
受取寄附金	194,622	194,622	0	0	194,622
受取寄附金振替額	1,262,053,671	1,262,053,671	0	0	1,262,053,671
⑥. 雑収益	[6,886,101]	[6,886,101]	[0]	[0]	[6,886,101]
受取利息	1,797	1,797	0	0	1,797
雑収益	6,884,304	6,884,304	0	0	6,884,304
経常収益計	2,286,081,813	2,286,081,813	150,898,000	0	2,436,979,813
(2) 経常費用					
①. 事業費	[1,403,595,553]	[1,403,595,553]		[0]	[1,403,595,553]
期首棚卸高	92,699,895	92,699,895		0	92,699,895
仕入高	133,006,733	133,006,733		0	133,006,733
期末棚卸高	△ 82,673,053	△ 82,673,053		0	△ 82,673,053
給与手当	311,504,775	311,504,775		0	311,504,775
臨時雇賃金	83,158,197	83,158,197		0	83,158,197
退職給付費用	8,717,468	8,717,468		0	8,717,468
福利厚生費	62,777,998	62,777,998		0	62,777,998
旅費交通費	29,363,575	29,363,575		0	29,363,575
通信運搬費	19,034,907	19,034,907		0	19,034,907
什器備品費	1,155,570	1,155,570		0	1,155,570
消耗品費	15,848,798	15,848,798		0	15,848,798
減価償却費	164,040,372	164,040,372		0	164,040,372
修繕費	103,216,290	103,216,290		0	103,216,290
印刷製本費	5,679,555	5,679,555		0	5,679,555
燃料費	2,566,188	2,566,188		0	2,566,188
光熱水料費	42,523,125	42,523,125		0	42,523,125
賃借料	29,942,886	29,942,886		0	29,942,886
保険料	7,965,788	7,965,788		0	7,965,788
諸謝金	22,207,781	22,207,781		0	22,207,781
租税公課	7,237,050	7,237,050		0	7,237,050
負担金	100,437,000	100,437,000		0	100,437,000
助成費	38,218,092	38,218,092		0	38,218,092
寄附金	5,300,000	5,300,000		0	5,300,000
宣伝広告費	87,115,265	87,115,265		0	87,115,265
会議費	10,215,543	10,215,543		0	10,215,543
交際費	1,987,228	1,987,228		0	1,987,228
委託費	76,331,918	76,331,918		0	76,331,918
雑費	24,016,609	24,016,609		0	24,016,609

Ⅲ－２）正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[135,256,546]	[0]	[135,256,546]
役員報酬			750,000	0	750,000
給与手当			67,104,108	0	67,104,108
臨時雇賃金			2,489,445	0	2,489,445
役員退職給付費用			300,000	0	300,000
退職給付費用			803,358	0	803,358
福利厚生費			11,879,607	0	11,879,607
旅費交通費			7,784,522	0	7,784,522
通信運搬費			7,158,579	0	7,158,579
消耗品費			1,516,719	0	1,516,719
減価償却費			7,004,175	0	7,004,175
修繕費			998,760	0	998,760
印刷製本費			933,664	0	933,664
燃料費			160,720	0	160,720
光熱水料費			1,715,809	0	1,715,809
賃借料			4,422,901	0	4,422,901
保険料			202,633	0	202,633
諸謝金			3,517,990	0	3,517,990
租税公課			1,238,980	0	1,238,980
会議費			1,420,566	0	1,420,566
交際費			2,060,782	0	2,060,782
委託費			10,215,659	0	10,215,659
雑費			1,577,569	0	1,577,569
経常費用計	1,403,595,553	1,403,595,553	135,256,546	0	1,538,852,099
評価損益等調整前当期経常増減額	882,486,260	882,486,260	15,641,454	0	898,127,714
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	882,486,260	882,486,260	15,641,454	0	898,127,714
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
有価証券売却損	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	1	0	1
経常外費用計	0	0	1	0	1
当期経常外増減額	0	0	△ 1	0	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	882,486,260	882,486,260	15,641,453	0	898,127,713
他会計振替額	15,641,453	15,641,453	△ 15,641,453	0	0
当期一般正味財産増減額	898,127,713	898,127,713	0	0	898,127,713
一般正味財産期首残高	5,748,179,539	5,748,179,539	244,538,057	0	5,992,717,596
合併による一般正味財産増加額	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	6,646,307,252	6,646,307,252	244,538,057	0	6,890,845,309
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 1,654,366,923	△ 1,654,366,923	△ 842,285,200	0	△ 2,496,652,123
特定資産評価損益等	85,709,137	85,709,137	0	0	85,709,137
基本財産受取利息	59,824,449	59,824,449	0	0	59,824,449
基本財産受取配当金	275,792,000	275,792,000	32,098,000	0	307,890,000
特定資産受取利息	398,505	398,505	0	0	398,505
受取寄付金	182,294,000	182,294,000	0	0	182,294,000
一般正味財産への振替額	△ 1,458,611,282	△ 1,458,611,282	△ 32,098,000	0	△ 1,490,709,282
当期指定正味財産増減額	△ 2,508,960,114	△ 2,508,960,114	△ 842,285,200	0	△ 3,351,245,314
指定正味財産期首残高	31,731,930,503	31,731,930,503	6,164,869,200	0	37,896,799,703
指定正味財産期末残高	29,222,970,389	29,222,970,389	5,322,584,000	0	34,545,554,389
Ⅲ 正味財産期末残高	35,869,277,641	35,869,277,641	5,567,122,057	0	41,436,399,698

IV. 財務諸表に対する注記

1) 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2) 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

市場価格のあるもの … 期末日の市場価格に基づく時価法（売上原価は移動平均法により算定）によっている。

市場価格のないもの … 移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却方法

建物 … 定額法によっている。

建物附属設備 … 定率法によっている。

構築物 … 定率法によっている。

機械装置 … 定率法によっている。

車両運搬具 … 定率法によっている。

船舶 … 定率法によっている。

什器備品 … 定率法によっている。

ソフトウェア（自社利用）… 法人内における利用可能期間（主として5年）に基づく定額法によっている。

(4) 外貨建預金の評価方法

決算日の為替相場に基づく時価法によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	22,800,000	0	0	22,800,000
美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
普通預金	67,713,567	94,710,039	158,000,000	4,423,606
投資有価証券	19,210,242,349	4,391,685	2,590,437,009	16,624,197,025
小計	36,659,586,391	99,101,724	2,748,437,009	34,010,251,106
特定資産				
芸術祭事業積立資産	262,963,724	75,054,652	203,412,956	134,605,420
助成事業積立資産	74,360,845	990	0	74,361,835
修繕積立資産	131,138,743	63,350,000	6,028,715	188,460,028
美術館事業積立資産	768,750,000	182,294,000	813,168,000	137,876,000
事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	1,267,213,312	320,699,642	1,022,609,671	565,303,283
合 計	37,926,799,703	419,801,366	3,771,046,680	34,575,554,389

4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
土地	22,800,000	(22,800,000)	(0)	-
美術品	17,358,830,475	(17,358,830,475)	(0)	-
普通預金	4,423,606	(4,423,606)	(0)	-
投資有価証券	16,624,197,025	(16,624,197,025)	(0)	-
小計	34,010,251,106	(34,010,251,106)	(0)	-
特定資産				
芸術祭事業積立資産	134,605,420	(134,605,420)	(0)	-
助成事業積立資産	74,361,835	(74,361,835)	(0)	-
修繕積立資産	188,460,028	(188,460,028)	(0)	-
美術館事業積立資産	137,876,000	(137,876,000)	(0)	-
事務所建設積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	-
小計	565,303,283	(535,303,283)	(30,000,000)	-
合 計	34,575,554,389	(34,545,554,389)	(30,000,000)	-

5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,434,229,425	1,526,356,524	2,907,872,901
建物附属設備	525,273,820	406,671,473	118,602,347
構築物	696,311,475	524,551,667	171,759,808
機械装置	20,693,436	19,471,396	1,222,040
車両運搬具	4,132,318	4,097,774	34,544
什器備品	139,341,254	121,850,617	17,490,637
ソフトウェア	17,051,276	17,051,276	0
合 計	5,837,033,004	2,620,050,727	3,216,982,277

6) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	当期末残高
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	54,507,611
基本財産受取配当金	174,148,000
受取寄附金	1,262,053,671
合 計	1,490,709,282

7) 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	対象者	法人等の名称	関係内容		住所	資産総額 (単位： 百万円)	事業の 内容	議決権の 所有割合	取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)
			役員の 兼務等	事業上 の関係								
代表理事 理事長	福武 英明	(株)ベネット ホールディングス	取締役	-	岡山県 岡山市 北区南方 3-7-17	541,560	教育 出版他	8.0%	ベネット他 利用料	5,931,176	未払金	560,339
									李美術館地代	2,393,844	前払費用	199,487
									地中防災センター 地代	102,000	前払費用	17,000
									関連書籍 仕入他	141,760	買掛金	36,780
									グループ・インタ等 使用料	8,732,854	未払金	699,722
									鑑賞料収入 商品他販売収入	21,631,550	売掛金	1,920
									地中加工賃料収入	8,256,888	前受金	688,074
代表理事 名管理理事長	福武 総一郎	本人	-	-	-	-	-	-	土地賃借料	300,000	前払費用	20,000
									出向者費用	1,345,356	未払費用	112,113
業 務 執 行 理 事	北川 フラム	特定 非営利 活動法人 瀬戸内 こえび ネットワーク	代表理事	-	香川県 高松市 サウスト1-1	-	瀬戸内国 際芸術祭 活動支援	-	アートディレクション報酬	10,185,180	-	0
									上記に係る旅費	0	未払金	0
									施設修繕費用	112,744	未払金	0
									ガイド料	1,061,389	未払金	0
									会議等食事代	48,340	未払金	0
									鑑賞料等収入	492,810	売掛金	51,810
											未収金	0
(株)アートポイント ギャラリー	代 表 取締役 会 長	-	-	東京都 渋谷区 猿楽町 29-18	-	美術全般の デザイン・ 制作等	-	施設修繕費用	35,710	未払金	0	
								鑑賞料収入	0	売掛金	0	
理事	鈴木 寛	(有)環境創造 研究所	議決権の全数 を有する	-	兵庫県 神戸市 垂水区 桃山台 4-5-6	-	コンサルティング	-	業務指導料	4,888,800	未払金	407,400
監 事	尾尻 哲洋	辻・本郷 税理士法人	特 別 顧 問	-	東京都 新宿区 新宿 4-1-6	-	会計税務 サービス	-	業務指導料	1,980,000	-	0
監 事	和田 朝治	本人	-	-	-	-	-	-	業務指導料	594,000	前払金	88,000
											未払金	0
評議員	福武 美津子	(株)イガラシ	代表取締役	-	岡山県 岡山市 北区絵図町 9-40	-	飲食 宿泊業	-	会議等食事代	234,690	未払金	18,310
		(一社) 食で未来を 創るアカデミー	代表理事	-	岡山県 岡山市 北区絵図町 9-40	-	飲食 宿泊業	-	宿泊・食事代	422,520	未払金	0
評議員	笠原 良二	(株)直島 文化村	代表取締役社 長	-	香川県 香川郡 直島町 364-1	-	宿泊施設・ アート施設の 運営管理	-	鑑賞料収入	11,406,151	売掛金	1,107,102
									商品他販売収入	907,670	売掛金	0
									美術施設 運営委託等	1,074,081	未払金	796,250
									出向者費用	7,608,000	未払費用	634,000

8) 公益目的保有財産の明細

公益目的保有財産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産 土地		32,550 m ² 香川県直島町立石3447-1 22,800,000	公1
基本財産 美術品	直島町立石 地中美術館内 モネ5、タレル3、デマリア1 17,358,830,475		公1
基本財産 普通預金		中国銀行 普通預金口座 4,423,606	公1
基本財産 投資有価証券		株式会社パナソニックホールディングス株式 5,014,400株 9,727,936,000	公1
基本財産 投資有価証券		公社債、投資信託、 不動産投資証券他 1,573,677,025	公1
その他固定資産 土地		472,695 m ² 直島、豊島、犬島 462,896,646	公1
その他固定資産 美術品		直島、豊島、犬島 李、内藤、大竹、ボルタンスキー作品他 1,701,826,994	公1
その他固定資産 建物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 2,759,110,220	公1
その他固定資産 建物附属設備		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 115,242,297	公1
その他固定資産 構築物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 171,759,808	公1
その他固定資産 車両運搬具		直島、豊島、犬島他 軽トラック 34,543	公1
その他固定資産 工具・器具・備品		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 11,213,152	公1
その他固定資産 機械装置		直島、豊島 銭湯、ボルタンスキー他 1,222,040	公1
その他固定資産 建設仮勘定		直島、豊島、犬島 美術施設・美術館員寮他 1,123,485,274	公1
その他固定資産 敷金		豊島、犬島 美術施設土地敷金他 12,210,000	公1
その他固定資産 その他投資等		直島、犬島 美術館AED保証金他 47,720	公1
合 計	17,358,830,475	17,687,885,325	

注： 公1は、「文化・芸術による地域社会の発展に関する事業」

注： 公益認定後取得不可欠特定財産はありません。

9) その他

(1) 金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債、仕組預金）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）にさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

V. 附属明細書

1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地	22,800,000	0	0	22,800,000
	美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
	普通預金	67,713,567	94,710,039	158,000,000	4,423,606
	投資有価証券	19,210,242,349	4,391,685	2,590,437,009	16,624,197,025
	基本財産計	36,659,586,391	99,101,724	2,748,437,009	34,010,251,106
特定資産	芸術祭事業積立資産	262,963,724	75,054,652	203,412,956	134,605,420
	助成事業積立資産	74,360,845	990	0	74,361,835
	修繕積立資産	131,138,743	63,350,000	6,028,715	188,460,028
	美術館事業積立資産	768,750,000	182,294,000	813,168,000	137,876,000
	事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
	特定資産計	1,267,213,312	320,699,642	1,022,609,671	565,303,283

VI-2) 財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
基本財産	普通預金	中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX1)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	4,423,606
	投資有価証券	(株)ベネッセホールディングス株式5,014,400株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	9,727,936,000
		(株)ベネッセホールディングス株式2,743,600株	運用益を管理業務の財源として使用している	5,322,584,000
		公社債 (第3回ソフトバンクG無担保劣後債)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	47,340,000
		外貨建債券 (ゴールドマン・サックスUSD債券他 16銘柄)	同上	811,482,577
		不動産投資証券 (GLP投資証券他 11銘柄)	同上	360,991,308
		投資信託他 (MAXIS トピックス上場投信他 5銘柄)	同上	353,863,140
特定資産	芸術祭事業 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (芸術祭事業) 実施のため	83,077,539
		USドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX8)	同上	51,527,881
	助成事業 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX4)	公益目的事業 (助成事業) 実施のため	74,360,429
		豪ドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX5)	同上	1,405
		NZドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX3)	同上	1
	修繕積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (修繕) 実施のため	188,460,028
	美術館事業 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (美術館事業) 実施のため	137,876,000
事務所建設 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	管理業務の財源とするため	30,000,000	

VI-3) 財産目録

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
その他の固定資産	土地	犬島精錬所美術館土地 岡山市東区犬島	公益目的保有財産	485,040,892	
		豊島美術館土地 香川県小豆郡土庄町豊島	462,896,646		
		豊島虻山土地 香川県小豆郡土庄町豊島			
		The Naoshima Plan「水」土地 香川県香川郡直島町 他			
		直島事務局事務所土地 香川県香川郡直島町	管理業務に使用	9,000,000	
		豊島鱒ヶ浜土地 香川県小豆郡土庄町豊島 他	遊休財産として	13,144,246	
	建物	地中美術館建物 コンクリート造り	公益目的保有財産	2,907,872,901	
		豊島美術館メイン棟建物 コンクリート造り	2,759,110,220		
		犬島精錬所美術館建物 鉄骨造り			
		李禹煥美術館建物 コンクリート造り 他			
		直島事務局事務所建物 5階建ビル	管理業務に使用	147,985,575	
		直島建物改修工事 他	遊休財産として	777,106	
	建物附属設備	直島地中美術館通信照明設備、犬島精錬所浄化槽設備 他	公益目的保有財産	118,602,347	
		直島事務局事務所空調設備 他	管理業務に使用		1,977,976
		直島建物附属設備改修工事 他	遊休財産として		1,382,074
	構築物	犬島精錬所外構、豊島美術館外構、李美術館外構 他	公益目的保有財産	171,759,808	
	機械装置	豊島心臓音のアーカイブ録音装置 他	公益目的保有財産	1,222,040	
	車両運搬具	運搬用車両	公益目的保有財産	34,544	
		車両	管理業務に使用		1
	船舶	小型船舶	管理業務に使用	0	
什器備品	直島作品関連備品、豊島作品関連備品 他	公益目的保有財産	17,490,637		
	直島事務局事務所オフィス家具 他	管理業務に使用		6,277,485	
美術品	李禹煥作品「無限門」 大竹伸朗作品「女根」 内藤礼作品「母型」 他	公益目的保有財産	1,872,920,163		
	遊休状態にある美術品	遊休財産として		171,093,169	
ソフトウェア	美術館事業管理ソフトウェア	公益目的保有財産	0		
建設仮勘定	直島美術施設、直島美術館事業従業員寮建設支出 他	公益目的保有財産	1,123,485,274		
敷金	美術施設土地賃借敷金 他	公益目的保有財産	12,210,000		
その他投資等	美術館AED保証金 他	公益目的保有財産	221,810		
	電話加入権 他	管理業務に使用		174,090	
固定資産合計			41,286,414,805		
資産合計			41,537,167,756		
(流動負債)					
	買掛金	事業費に係る買掛金	11,340,476		
	未払金	事業費及び管理費に係る未払金	47,476,504		
	未払費用	事業費及び管理費に係る未払費用	34,348,965		
	預り金	事業費及び管理費に係る預り金	6,782,548		
	前受金	事業費に係る前受金	819,565		
流動負債合計			100,768,058		
(固定負債)					
固定負債合計			0		
負債合計			100,768,058		
正味財産			41,436,399,698		

Ⅶ. 予算対比正味財産増減計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

Ⅶ－１）予算対比正味財産増減計算書

（単位：円）

科 目	予算	決算	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[345,640,189]	[347,455,611]	[△ 1,815,422]
基本財産受取利息振替額	52,692,189	54,507,611	△ 1,815,422
基本財産受取配当金	118,800,000	118,800,000	0
基本財産受取配当金振替額	174,148,000	174,148,000	0
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[777,036,453]	[820,296,424]	[△ 43,259,971]
④. 受取補助金	[87,212]	[93,384]	[△ 6,172]
⑤. 受取寄附金	[1,272,435,234]	[1,262,248,293]	[10,186,941]
受取寄附金	192,168	194,622	△ 2,454
受取寄附金振替額	1,272,243,066	1,262,053,671	10,189,395
⑥. 雑収益	[6,443,923]	[6,886,101]	[△ 442,178]
受取利息	1,927	1,797	130
雑収益	6,441,996	6,884,304	△ 442,308
経常収益計	2,401,643,011	2,436,979,813	△ 35,336,802
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,368,767,771]	[1,403,595,553]	[△ 34,827,782]
期首棚卸高	92,699,895	92,699,895	0
仕入高	131,211,127	133,006,733	△ 1,795,606
期末棚卸高	△ 88,594,876	△ 82,673,053	△ 5,921,823
給与手当	312,903,233	311,504,775	1,398,458
臨時雇賃金	87,328,342	83,158,197	4,170,145
退職給付費用	8,819,521	8,717,468	102,053
福利厚生費	62,878,632	62,777,998	100,634
旅費交通費	30,236,962	29,363,575	873,387
通信運搬費	20,236,639	19,034,907	1,201,732
什器備品費	5,342,770	1,155,570	4,187,200
消耗品費	14,909,486	15,848,798	△ 939,312
減価償却費	164,653,309	164,040,372	612,937
修繕費	106,221,074	103,216,290	3,004,784
印刷製本費	5,109,870	5,679,555	△ 569,685
燃料費	2,490,626	2,566,188	△ 75,562
光熱水料費	40,545,624	42,523,125	△ 1,977,501
賃借料	29,836,825	29,942,886	△ 106,061
保険料	7,956,498	7,965,788	△ 9,290
諸謝金	22,123,953	22,207,781	△ 83,828
租税公課	△ 29,899,424	7,237,050	△ 37,136,474
負担金	100,437,000	100,437,000	0
助成費	39,050,000	38,218,092	831,908
寄附金	5,300,000	5,300,000	0
宣伝広告費	87,168,035	87,115,265	52,770
会議費	8,452,903	10,215,543	△ 1,762,640
交際費	2,245,087	1,987,228	257,859
委託費	76,154,782	76,331,918	△ 177,136
雑費	22,949,878	24,016,609	△ 1,066,731

VII - 2) 予算対比正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異
②. 管理費	[136,847,525]	[135,256,546]	[1,590,979]
役員報酬	700,000	750,000	△ 50,000
給与手当	67,297,133	67,104,108	193,025
臨時雇賃金	2,489,925	2,489,445	480
役員退職給付費用	300,000	300,000	0
退職給付費用	899,739	803,358	96,381
福利厚生費	11,878,344	11,879,607	△ 1,263
旅費交通費	6,700,517	7,784,522	△ 1,084,005
通信運搬費	7,447,233	7,158,579	288,654
消耗品費	1,784,691	1,516,719	267,972
減価償却費	6,981,488	7,004,175	△ 22,687
修繕費	1,002,420	998,760	3,660
印刷製本費	966,822	933,664	33,158
燃料費	178,942	160,720	18,222
光熱水料費	1,765,259	1,715,809	49,450
賃借料	4,339,619	4,422,901	△ 83,282
保険料	185,329	202,633	△ 17,304
諸謝金	3,452,320	3,517,990	△ 65,670
租税公課	1,280,380	1,238,980	41,400
会議費	3,260,860	1,420,566	1,840,294
交際費	2,018,730	2,060,782	△ 42,052
委託費	10,226,452	10,215,659	10,793
雑費	1,691,322	1,577,569	113,753
経常費用計	1,505,615,296	1,538,852,099	△ 33,236,803
評価損益等調整前当期経常増減額	896,027,715	898,127,714	△ 2,099,999
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	896,027,715	898,127,714	△ 2,099,999
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	896,027,715	898,127,713	△ 2,099,998
一般正味財産期首残高	5,992,717,596	5,992,717,596	0
一般正味財産期末残高	6,888,745,311	6,890,845,309	△ 2,099,998
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等		△ 2,496,652,123	2,496,652,123
特定資産評価損益等		85,709,137	△ 85,709,137
基本財産受取利息	56,772,728	59,824,449	△ 3,051,721
基本財産受取配当金	307,890,000	307,890,000	0
特定資産受取利息	174,581	398,505	△ 223,924
受取寄付金	182,294,000	182,294,000	0
一般正味財産への振替額	△ 1,499,083,255	△ 1,490,709,282	△ 8,373,973
当期指定正味財産増減額	△ 951,951,946	△ 3,351,245,314	2,399,293,368
指定正味財産期首残高	37,896,799,703	37,896,799,703	0
指定正味財産期末残高	36,944,847,757	34,545,554,389	2,399,293,368
III 正味財産期末残高	43,833,593,068	41,436,399,698	2,397,193,370

Ⅷ. 予算対比収支計算書（収支ベース）（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

Ⅷ-1) 予算対比収支計算書（収支ベース）

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
① 基本財産運用収入	基本財産運用収入	483,462,728	486,514,449	△ 3,051,721	
② 特定資産運用収入	特定資産運用収入	174,581	398,505	△ 223,924	
③ 事業収入	公益及び物販収入	777,036,453	820,296,424	△ 43,259,971	来館者数増に伴う事業収入の増加
④ 補助金収入	補助金収入	87,212	93,384	△ 6,172	
⑤ 寄附金収入	寄附金収入	182,486,168	182,488,622	△ 2,454	
⑥ 雑収入	その他収入	6,443,923	6,886,101	△ 442,178	
事業活動収入計		1,449,691,065	1,496,677,485	△ 46,986,420	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出					
	仕入高	131,211,127	133,006,733	△ 1,795,606	
	給与手当支出	312,903,233	311,504,775	1,398,458	
	臨時雇賃金支出	87,328,342	83,158,197	4,170,145	要員未充足に伴う支出減
	退職給付支出	8,819,521	8,717,468	102,053	
	福利厚生費支出	62,878,632	62,777,998	100,634	
	旅費交通費支出	30,236,962	29,363,575	873,387	
	通信運搬費支出	20,236,639	19,034,907	1,201,732	
	什器備品費支出	5,342,770	1,155,570	4,187,200	新寮完成時期変更に伴う支出減
	消耗品費支出	14,909,486	15,848,798	△ 939,312	
	修繕費支出	106,221,074	103,216,290	3,004,784	修繕時期見直しによる支出減
	印刷製本費支出	5,109,870	5,679,555	△ 569,685	
	燃料費支出	2,490,626	2,566,188	△ 75,562	
	光熱水料費支出	40,545,624	42,523,125	△ 1,977,501	
	賃借料支出	29,836,825	29,942,886	△ 106,061	
	保険料支出	7,956,498	7,965,788	△ 9,290	
	諸謝金支出	22,123,953	22,207,781	△ 83,828	
	租税公課支出	△ 29,899,424	7,237,050	△ 37,136,474	消費税還付額減に伴う支出増
	支払負担金支出	100,437,000	100,437,000	0	
	助成費支出	39,050,000	38,218,092	831,908	
	寄附金支出	5,300,000	5,300,000	0	
	宣伝広告費支出	87,168,035	87,115,265	52,770	
	会議費支出	8,452,903	10,215,543	△ 1,762,640	
	交際費支出	2,245,087	1,987,228	257,859	
	委託費支出	76,154,782	76,331,918	△ 177,136	
	雑費支出	22,949,878	24,016,609	△ 1,066,731	
	小計	1,200,009,443	1,229,528,339	△ 29,518,896	
② 管理費支出					
	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	700,000	750,000	△ 50,000	
	給与手当支出	67,297,133	67,104,108	193,025	
	臨時雇賃金支出	2,489,925	2,489,445	480	
	役員退職給付支出	300,000	300,000	0	
	退職給付支出	899,739	803,358	96,381	
	福利厚生費支出	11,878,344	11,879,607	△ 1,263	
	旅費交通費支出	6,700,517	7,784,522	△ 1,084,005	
	通信運搬費支出	7,447,233	7,158,579	288,654	
	消耗品費支出	1,784,691	1,516,719	267,972	
	修繕費支出	1,002,420	998,760	3,660	
	印刷製本費支出	966,822	933,664	33,158	
	燃料費支出	178,942	160,720	18,222	
	光熱水料費支出	1,765,259	1,715,809	49,450	
	賃借料支出	4,339,619	4,422,901	△ 83,282	
	保険料支出	185,329	202,633	△ 17,304	
	諸謝金支出	3,452,320	3,517,990	△ 65,670	
	租税公課支出	1,280,380	1,238,980	41,400	
	会議費支出	3,260,860	1,420,566	1,840,294	
	交際費支出	2,018,730	2,060,782	△ 42,052	
	委託費支出	10,226,452	10,215,659	10,793	
	雑費支出	1,691,322	1,577,569	113,753	
	小計	129,866,037	128,252,371	1,613,666	
事業活動支出計		1,329,875,480	1,357,780,710	△ 27,905,230	
事業活動収支差額		119,815,585	138,896,775	△ 19,081,190	

Ⅷ-2) 予算対比収支計算書(収支ベース)

(単位:円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考	
大科目	中科目					
Ⅱ 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
①	基本財産取崩収入	基本財産取崩収入	158,000,000	158,000,000	0	基本財産取崩を計画どおり実施
②	特定資産取崩収入	芸術祭事業積立資産取崩収入	202,219,541	203,412,956	△ 1,193,415	
	特定資産取崩収入	修繕積立資産取崩収入	6,411,525	6,028,715	382,810	
	特定資産取崩収入	美術館事業積立資産取崩収入	905,612,000	894,612,000	11,000,000	新寮完成時期変更に伴う支出減
	特定資産取崩収入	助成事業積立資産取崩収入	0	0	0	
	投資活動収入計		1,272,243,066	1,262,053,671	10,189,395	
2. 投資活動支出						
①	基本財産取得支出	基本財産取得支出	4,080,539	5,316,838	△ 1,236,299	
②	その他固定資産取得支出	作品・建物他購入支出	1,069,712,980	1,062,127,221	7,585,759	新寮完成時期変更に伴う支出減
③	特定資産取得支出	芸術祭事業積立資産繰入支出	70,566,145	70,789,477	△ 223,332	
		助成事業積立資産繰入支出	436	1,028	△ 592	
		修繕積立資産繰入支出	63,350,000	63,350,000	0	
		美術館事業積立資産繰入支出	182,294,000	182,294,000	0	
		事務所建設積立資産繰入支出	0		0	
④	敷金支出		0		0	
	投資活動支出計		1,390,004,100	1,383,878,564	6,125,536	
	投資活動収支差額		△ 117,761,034	△ 121,824,893	4,063,859	
Ⅲ 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
①	借入金収入	長期借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計		0	0	0	
2. 財務活動支出						
①	借入金返済支出	長期借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計		0	0	0	
	財務活動収支差額		0	0	0	
Ⅳ 予備費支出						
	当期収支差額		2,054,551	17,071,882	△ 15,017,331	
	前期繰越収支差額		50,239,958	50,239,958	0	
	次期繰越収支差額		52,294,509	67,311,840	△ 15,017,331	

IX. 島別施設別収支計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）【参考用】

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根&リアンドロ	計
I	事業活動収支の部								
	1. 事業活動収入								
	事業収入								
	公益事業収入	266,860	44,641	22,081	23,234	3,956		0	360,774
	公益販売事業収入	105,024	32,474	15,918	6,550	219		0	160,186
	小計	371,884	77,116	38,000	29,785	4,176		0	520,960
	その他収入	雑収入他	29	66	1	8	12	0	115
	事業活動収入計	371,913	77,182	38,000	29,792	4,187		0	521,074
	2. 事業活動支出								
	事業費支出	277,593	65,937	43,955	19,401	3,731		3,482	414,100
	事業活動支出計	277,593	65,937	43,955	19,401	3,731		3,482	414,100
	事業活動収支差額	【決算】	94,320	11,244	△ 5,955	10,391	457	△ 3,482	106,975
		【予算】	64,488	5,738	△ 6,362	9,799	630	△ 3,437	70,855
		増減	29,832	5,507	407	592	△ 174	△ 45	36,119

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ								
大科目	中科目	犬島	豊島美・森	ボル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計	
I	事業活動収支の部									
	1. 事業活動収入									
	事業収入									
	公益事業収入	35,600	96,478	14,060	13,323	0	6,181	2,535	168,177	
	公益販売事業収入	33,143	76,772	9,877	2,025	0	2,652	6,690	131,159	
	小計	68,743	173,249	23,938	15,348	0	8,834	9,225	299,337	
	その他収入	雑収入他	1,555	383	42	50	9	45	2,083	
	事業活動収入計	70,297	173,632	23,980	15,398	0	8,843	9,269	301,420	
	2. 事業活動支出									
	事業費支出	99,583	157,002	19,899	21,094	215	9,421	11,505	318,720	
	事業活動支出計	99,583	157,002	19,899	21,094	215	9,421	11,505	318,720	
	事業活動収支差額	【決算】	△ 29,286	16,631	4,081	△ 5,696	△ 215	△ 578	△ 2,236	△ 17,300
		【予算】	△ 30,588	7,223	3,089	△ 6,827	△ 216	△ 885	△ 2,243	△ 30,447
		増減	1,302	9,408	992	1,131	0	307	8	13,148

令和 5年 5月12日

公益財団法人 福武財団
理事長 福武 英明 殿

公益財団法人 福武財団

監事 和田 朝 治 

監事 尾尻 哲 洋 

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの公益財団法人福武財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上